

インテリジェント、強力で柔軟な自動適応型プラットフォーム

Tintri Cloud Engine (TCE) 1.0 は、Tintri VMstore™のソフトウェアをクラウド上に提供するものです。TCE1.0は、業界で最もインテリジェントで、強力で自動適応可能なプラットフォームであるVMstoreを、ハードウェアとソフトウェアを切り離し提供するエントリポイントの製品です。現在、クラウドネイティブアプリケーションの標準とされているコンテナにてVMstoreを提供する最初のリリースとなります。これにより、TCEプラットフォームは、容易に構築・拡張することができ、今日お客様が直面する最も困難な技術的課題の多くを解決することができます。

TCE1.0では、停電やランサムウェア攻撃からの復旧のために、ワークロードベースのスナップショットの保存場所をクラウドに隔離することができます。Tintriをご利用のお客様は、安価なクラウドリソースを活用して、サポートされているオブジェクトタイプのVMstoreスナップショットを保存できるようになります。

Tintri VMstoreは、従来ストレージとは一線を画すAI活用した優れた効率性と最適化を提供し、多くのお客様にご好評いただいています。VMstoreのシステムは数分で導入でき、自己最適化し、最も要求の厳しいワークロードに動的に適応します。自律的な運用と高度なリアルタイムおよび予測分析により、ストレージ管理の作業とコストを最大95%削減することができます。

Tintri Global Center™によって、VMstoreシステムを単一のコンソールから管理することができ、最大数十万台のVM、データベース、コンテナをサポートすることができます。

特徴

データサービス - リアルタイム重複排除・圧縮、パブリッククラウドコネクター、コピーデータ管理など

リアルタイム分析 - VM単位またはデータベース単位で、ストレージ、ネットワーク、ホストを可視化

即座に対応可能な分析 - ワンクリックで根本原因を突き止め、修正し、確認でき、問題を解決可能

予測分析 - プロファイルのアプリケーションタイプに従い、モデル化し今後18ヶ月間のキャパシティとパフォーマンスのニーズを予測

開発者に選択を提供 - TintriのネイティブREST API、PowerShellツールキット、Python SDK、またはTintriの提供するvRealize Orchestratorなどのプラグインから、ニーズに合ったものを選択可能

データ保護 - 停電やランサムウェア攻撃からの復旧のために、ワークロードベースのスナップショットの保存場所として、隔離された場所を提供

メリット

- ・システムの初期設定と電源の両方をリモートで管理できるため、分散環境の管理を簡素化
- ・簡単な設定により、エンタイトルからプロダクションへの移行が可能
- ・オープンAPIは、スクリプトをシンプル、標準化、強力にするとともに、選択肢を提供
- ・自律運用により、マニュアル操作のほとんどを排除し、時間の節約とミスの削減を実現
- ・Tintri VMstoreをパブリッククラウドに導入することによって、物理データセンターではなくクラウドスケールのインフラを活用できる柔軟性を提供



VMstore Tintri Cloud Engine (TCE)

Product Specifications		
VMstore TCE		VMstore TCE1000
アプリケーション実装密度	仮想マシン数 (最大)	50
容量	有効実効容量 ^{abc}	最大49.9TBまで
コントローラごとに ネットワークポートを内蔵	Adminポート	最大12.5Gbps
	Data/Replicationポート	最大12.5Gbps
システム	タイプ	EBSストレージを搭載したAWS VM
ソフトウェア	TintriOS	TintriOS 5.5.0.1 ~
追加ソフトウェア	管理	VMware VMスナップショット、Hyper-V VMスナップショット、Microsoft SQL Serverデータベーススナップショット
	アナリティクス	Tintri Analytics ^d : 最大3年分の詳細な運用履歴メトリックス
	Tintriソフトウェアスイート	ReplicateVM™ : 非同期レプリケーション、Tintri Global Center™ Advanced : VMスケールアウト

a. 有効実効容量とは、使用可能な容量のことです。RAW容量からデータ保護のオーバーヘッドを取り除き、省スペースのための乗数を適用して計算されます。データ保護のオーバーヘッドには、ダブルパリティ、ホットスベア、メタデータ用の内部領域が含まれます。省スペースは、インラインの重複排除、圧縮、クローン時の容量効率から得られますが、シンプロビジョニングは含まれません。データ削減率は通常2.5~5倍の効果がありますが、ここでは5倍を使用しています。

b. ストレージ容量については、1MBは100万バイト、1GBは10億バイト、1TBは1,000GB (1兆バイト) に相当します。アクセス可能な容量は、SSDのフォーマットやパーティション、OSなどにより、記載の容量とは異なります。

c. 最小ポリシーとして、1時間ごとのスナップショットを8個、1日ごとのスナップショットを7個、1週間ごとのスナップショットを4個、取得することを前提としています。すべてのスナップショットは、論理的に完全なリカバリが可能です。

d. VMstoreの有効な保守契約に含まれています。

